

平成24年度 第10回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成24年12月3日（月）16：00～17：30

場所：5階庁議室

【議題】 第2次健康くまもと21基本計画の素案について

【提案局】 健康福祉子ども局（健康づくり推進課）

説明者：續健康福祉子ども局長（田端健康づくり推進課長）

【出席者】 幸山市長、西島副市長、寺崎副市長、飯銅総務局長、高田企画振興局長、岡財政局長、坂本観光文化交流局長、前淵中央区長、西島東区長、永田西区長、永目南区長、石原北区長、廣塚教育長

【付議内容】 第2次健康くまもと21基本計画の素案について確定したい。

【資料】 ◇付議事項調書（様式1）

◇第2次健康くまもと21基本計画素案について（概要） 資料1

◇第2次健康くまもと21基本計画（熊本市健康増進計画）（素案）資料2

◇第2次健康くまもと21基本計画に掲げる目標値設定（案） 資料3

◇第1次健康くまもと21基本計画の最終評価の概要 資料4

◇参考資料

◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承

【議事概要】 ◇第2次健康くまもと21基本計画の素案の内容について、以下を修正の上、了承する。

①計画の推進体制について、今後さらに検討を行うこと。

②成果指標など記載の表現について検討し、修正すること。

③運動習慣者の支援などの支援内容について、具体的に提示すること。

④ボランティアの目標数について再度検討すること。

【審議の経過】 ◇学校保健と地域保健の連携の記載について、西区は修正なしで良いのか。
（幸山市長）

⇒学校保健との連携ではなく、より広く学校との連携という形での修正はできないか、という提案をしたところ。（永田西区長）

⇒国としても、学校保健と地域保健の連携が必要だとしており、それを方向性として出すことが大事だと考えている。（續健康福祉子ども局長）

⇒連携は必要なことだから、やらなければならない。（西島副市長）

⇒全て同じように全区でやらなければならないということではないという

認識の中で取り組むのであれば、現状の表現について問題はないと考える。(寺崎副市長)

◇第1次計画の総括と評価を行った上で、市民会議をどうするのが課題。
(西島副市長)

⇒第1次計画を総括し、評価した中で、市民会議が高い効果を発揮したとは言えないと考える。そこで、市民会議については、第2次計画の中では、その体制のまま継続することは考えていない。(田端健康づくり推進課長)

⇒第2次計画で推進体制として掲げてある健康くまもと21基本計画推進会議は、1次計画よりも効果を発揮できるのか。健康くまもと21という運動を推進していくためには、第1次計画で主体となっていた市民の方々とどのような関係を持っていくのがポイントになるのではないか。(西島副市長)

⇒今後は、小学校区単位で取り組んでいき、これまで活動いただいた方々には、アドバイザー的な役割をはたしていただければと考えている。活用が必要と考えている。(續健康福祉子ども局長)

⇒第1次計画で達成できなかったことを踏まえて、取り組み方を変えるわけだが、第2次計画で達成できなければどうするのか。また、小学校区単位での取り組みを、計画の中で上位部分に位置付けることも考えられる。(西島副市長)

⇒市民の健康づくりについては、継続的に取り組んでいく必要があると考えている。なお、市民会議をどうするのかは、現時点では記載することは難しいが、最終案の中には盛り込んでいきたいと考えている。(續健康福祉子ども局長)

⇒本市の市民協働の第一歩を担ってきたのが、健康くまもと21に関わる市民だと考えている。それをどう考えるのが重要だ。(西島副市長)

◇第1次計画の成果指標の評価手法は一般的な評価とは思えないが、その手法を踏襲するのか。(寺崎副市長)

⇒第2次計画の成果指標の評価手法については、第1次計画の評価手法の踏襲は考えていない。(續健康福祉子ども局長)

◇第2次計画の成果指標の表記が、指標と目標が一体となったものになっていたり、ベースラインという本市では一般的ではない表現があるため、標記内容を調整すべき。(坂本観光文化交流局長)

◇「ロコモ」という言葉を広めることが必要なのか。(寺崎副市長)

⇒言葉を一般的なものとして認知してもらうことが、意識を高めることに資すると考えている。(田端健康づくり推進課長)

◇健康という言葉の定義づけは必要ないか。(坂本観光文化交流局長)

⇒健康という言葉の中には、様々な意味が含まれており、一定の定義づけは難しいと考えている。(田端健康づくり推進課長)

◇素案[図5]の母親の出産年代区分をより細かく設定した方が、図の意味するところをより明確に示せるのではないか。(廣塚教育長)

◇基本目標の成果指標がない。(岡財政局長)

⇒めざすものの成果指標を、基本目標の指標と見えるよう書き方を変えれば良いのではないか。(寺崎副市長)

⇒指摘を受けて修正したい。(續健康福祉子ども局長)

◇6024を推進する必要があるか。フッ化物洗口の取り組みは実際どこまでできていると考えているのか。糖尿病の検診をより幅広く実施してはどうか。また、健康くまもと21は、あまりに幅が広く、運動として取り組むのは難しい。(石原北区長)

⇒6024については、80歳になる前に、より若い頃の歯の健康づくりが必要。同じ意味で、4歳から12歳といった子どもの時期の歯の健康づくりが重要視されており、フッ化物洗口の取り組みも必要だと考えている。糖尿病対応については、特定健診の中で見ていくものと考えている。また、健康づくりは幅広く実施していく必要があると考えている。(田端健康づくり推進課長)

◇地域毎に様々な取り組みを行っている小さな団体がある。そうした個別の団体を捉えて、進めていくことが重要。加えて、6024も分かるが、8020推進員が頑張っているので、8020運動の推進をお願いしたい。(前淵中央区長)

◇資料1概要の中で、学校に関する取り組みについて具体的な記載となっているが、他の項目と同じ程度の表現に修正していただきたい。(廣塚教育長)

⇒修正したい。(續健康福祉子ども局長)

◇総合型スポーツクラブはまだできていない地区も多い。運動習慣者の支援をするのは、体協が良いのではないか。また、支援というが、具体的に支援とはどのようなことを考えているのか。(西島東区長)

⇒総合型スポーツクラブの記載については、関係課であるスポーツ振興課との協議を経て記載している。(田端健康づくり推進課長)

⇒支援の具体的なプランを提示すること。(西島副市長)

◇ボランティアの目標数が3,000人となっているが、全校区で推進していった上での10年後の目標としては、もっと大きな数字を持っても良いのではないか。それが運動の広がりにつながるのではないか。(西島副市長)

⇒どうボランティアをとらえるかになる。検討する。(續健康福祉子ども局長)